

大阪府がん登録情報の利用申出概要（令和5年度第1回がん登録等部会）

資料1

利用申出

| 申出者 | 研究課題名 | 利用目的 |
|--------------------------------|--|--|
| 大阪国際がんセンター 井川 俊樹 | 大阪府がん登録データを用いた放射線治療の効果・有害事象に関する研究 | 放射線治療は高い局所治療効果を示す一方で、長期の経過で二次発がんリスクが上昇することがわかっている。その効果や有害事象について、本邦では大規模なデータベース研究は十分に行われていない。本研究では大阪府がん登録を用いた後ろ向きコホート研究を行い、放射線治療の効果、放射線治療後の二次発がんについての研究を行う。 |
| 大阪国際がんセンター がん対策センター 宮代 勲 | 住民ベースのがん登録に基づくがん患者生存率比較の大規模国際共同研究（CONCORD-4） | CONCORDプログラムは、住民ベースのがん登録に基づくがん患者生存率比較の大規模国際共同研究である。住民ベースの生存率の長期的な傾向について、信頼性が高く詳細な調査を行うことにより、がん対策に貢献することを目標とする。今回、CONCORD-4研究のデータコールに対し、大阪府がん登録データを提供し、研究に参画する。 |
| 堺市長 永藤 英機 | 堺市がん検診の効果の検証 | 本市のがん検診における今後の施策検討のため、市民のがん罹患の実態を知るとともに、自己負担金無償化の効果をはじめとする本市のがん検診の効果検証することを利用の目的とする。 |